

大阪市U-14フレッシュリーグ2025 大会要項

Ver.20250506

大会名	大阪市U-14フレッシュリーグ2025
主催	(一社)大阪府サッカー協会
主管	(一社)大阪府サッカー協会 第3種委員会
開催時期	前期リーグ 2025年 9月 20日～11月 9日 後期リーグ 2025年 11月 22日～ 2026年 1月 末日 決勝T 2026年 3月 1日～ 3月 8日 (予定)
会場	大阪府内各会場
競技規則	最新の(公財)日本サッカー協会制定の「競技規則」による ただし、ユニフォームに関しては下記に準ずるものとする
参加資格	・2010年(H22)4月2日以降の出生者 ・参加チームのメンバーは協会登録選手で構成され、その内中学校年齢層の選手数は8名以上とする ・大阪府に本拠地登録し、且つ活動拠点があるクラブ・その他・中体連チームとする ・(公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録したチームの選手で、2重活動選手は認められない(女子選手は除く) ・リーグ期間中に上記条件を満たさなくなった場合は、リーグ棄権とし、当該チームの全試合記録を抹消する ・リーグ戦参加にあたり、前後期リーグ・決勝Tに参加することを原則とする
最少スタッフ数	1名
参加費	・参加費 6000円
参加費振込先	・三菱UFJ銀行：堂島支店 ・普通 口座番号 0192385 ・口座名義：シャダンホウジン オオサカフサッカーキョウカイ
女子選手の 出場について	認める
4種登録選手 出場について	・認める(クラブ申請完了必須) ・試合への同時出場選手数は最大5名とする
大会エントリー	・エントリー期日：2025年9月8日(月) ・3種委員会ホームページ内、エントリーフォームから行う
運営会議	前期リーグ 2025年 9月11日(木) 19:00 大阪市立昭和中学校
	後期リーグ 2025年11月20日(木) 19:00 オンライン
競技方法	・前期リーグ 各ブロック6チームリーグ ブロック数は参加チーム数により決定 ・後期リーグ 前期の結果を受けて1部・2部の編成を行う 1部・2部共に4ブロック 各ブロックチーム数は参加チーム数により決定 ・決勝トーナメント 1部・2部ともにそれぞれ上位2チーム 計8チーム ・リーグ戦の勝点は、勝ち=3点 引き分け=1点 負け=0点 ・勝点・得失点・総得点・当該対戦結果(勝ち点が並んだ複数チーム同士の対戦の中での勝点・得失点・総得点)・抽選の順とする ・試合時間は50分(25-5-25)とする ・主審は上記試合時間の他、アディショナルタイムも適宜採用しなければならない ・棄権試合が3試合を超えた場合、当該チームはそれ以後のリーグ戦参加資格を失い、それまでの試合結果も削除される
前後期リーグ 決勝トーナメント 編成 ブロック 決定方法	・前期リーグは、オープン抽選を行う ・後期リーグは、前期リーグの結果を反映し、1部・2部に分ける (1部・2部それぞれのリーグ内で会場を確保するため同順位のブロックの入れ替えがある) ・リーグ編成はエントリーチーム数によって異なるが、以下の通りとする(以下エントリー60チームの場合) 前期 : 6チーム × 10ブロック 後期 : 1部8チーム×4ブロック 2部 7チーム×4ブロック 決勝T : 1部・2部それぞれ上位8チーム 前期は最大6チーム編成とする エントリーチーム数が確定しだい前後期ブロック割当てを連絡します 各リーグ戦において、参加チーム数によりチーム数がブロック間で異なる場合がある

選手エントリー	・試合開始30分前までに本部へ【メンバー表】2部・【申し送り事項】を提出する ・試合毎の登録は20名までとし、【先発】11名に○印、【サブ】9名以内に△印をつける ・選手エントリーについては毎節ごとにメンバー表に選手を記入するので、毎節、選手証を持参し提出する ・各チームの登録選手は原則として「KICK OFF」から出力した電子選手証（写真が登録されたもの）を持参すること。ただし、電子選手証（写真が登録されたもの）がスマートフォン等の画面で確認できる場合は出場を認めるものとする ※電子選手証とは、JFAのWEBシステム「KICK OFF」から出力した選手証を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す 選手証の原寸大カラーコピーも可（メンバー表の順番に並べておく）
選手交代	・再交代を採用する。（9名登録） ・選手交代用紙は使用しない
帯同審判	・主審は18歳以上(高校生年代不可)の有資格者 ・副審は中学生以上の有資格者（ユース審判）を推奨 ・審判員の不慮の事故により、試合続行が不可能な場合は、会場責任者と試合責任者と協議の上対応し、必ず試合は成立させる ・帯同審判がリーグ戦キックオフに支障を生じさせた場合は、そのチームは勝ち点3の剥奪とする。 ・退場等重要事項が発生した場合は、担当主審が【審判報告書】を大会運営会場責任者へ報告する。 メールアドレス：2025-fresh@ofa-3shu.jp
試合の成立	・試合開始時に7名未満の場合は棄権とする ・試合経過途中で選手数が7名未満になった場合、棄権とする ・中学校年代の選手が6名、同時出場していること。6名を下回った場合、棄権とする ・棄権が生じた際の試合スコアは0-5とするが、得失点で順位が決まる場合でかつ、棄権チームとの対戦がともに勝ち、ともに負けの場合、棄権チームとのスコアは全て削除する ・メンバー表、申し送りの持参忘れ、選手証、時間管理表の提示ができない場合も棄権扱いとする。
警告・退場等	・リーグ期間中に、警告を2度命じられた選手は、次の1試合は出場停止 ・累積警告が2度目となった選手は2試合の出場停止とする ・試合中に退場を命じられた選手は、最低次の1試合は出場停止となる ・その後の処置については全て（一社）大阪府サッカー協会3種委員会フェアプレー・規律委員会にて決定する ・但し、2試合以上の出場停止になるような重要事項の場合は、別途（一社）大阪府サッカー協会第3種委員会フェアプレー・規律委員会にて出場停止試合数を決定する ・累積警告は、予選リーグで消化させ、決勝Tへは持ち越さない ・退場による出場停止処分は、決勝Tへ持ち越しとする ・参加資格を失ったチームとの試合で出された警告・退場はそのまま有効とする
試合報告 審判報告	・試合責任者は試合終了後、試合記録報告書を記入し、会場責任者に提出する ・退場等重要事項が発生した場合は、担当主審が審判報告書に報告事項を記入して会場責任者へ報告する
試合責任の 役割	・試合責任者は、第4審判の役割も担っている ・【試合記録報告書】の準備・記入・作成 ・【メンバー表】と【選手証】との照合を行う（試合出場選手の登録の確認） ・メンバー表と選手証の確認、審判証の確認、選手交代時の確認 ・問題が発生した場合の報告義務 ・試合中であれば、主審への的確に助言する ・試合後、主審から詳細を聞き【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。主審が居ない場合は試合責任者が【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する ・重要事項(退場・勝ち点に関する事象など)が発生した場合、【試合記録報告書】に詳細を記入し、 メンバー表を添えて大会運営者にメールにて報告する（当日中） メールアドレス：2025-fresh@ofa-3shu.jp ・【申し送り事項】に記入し、各チームスタッフへ返却する ・試合終了後、速やかに試合結果報告サイトより試合結果を報告する(当日中) ・結果報告サイト： http://www.ofa-3shu.jp/gm/gm.cgi ・試合責任者がリーグ戦キックオフに支障を生じさせた場合は、そのチームは勝ち点3の剥奪とする。
会場責任 の役割	・主審・副審が居ない場合の対応（リーグ戦に支障が出る場合は、ブロック長と相談の上、棄権試合とする） ・会場設営・ピッチライン・本部・チームベンチ・ゴール・コーナーフラッグ・副審フラッグ・エアポンプの用意 ・重要事項(退場など)が発生した場合、試合結果とともに速やかにメールにてすぐに報告する(当日の19:00までに) ・メールアドレス： 2025-fresh@ofa-3shu.jp

ボ ー ル	・ 5号、検定球(公認球)を使用する ・ 両チームより持ち寄り主審が決定する ・ 協賛企業よりボールの提供があった場合はそれを必ず持ち寄る事
ユニフォーム	・ ユニフォームは正・副(GKを含む)の2色を必ず用意しなければならない ・ GKユニフォームは、FPとは明確に違う色を用いるものとする。またその際には、FPの2色と重ならないようにしなければならない ・ ユニフォームはカラー・デザイン・マーク等も必ず一致させる ・ 尚、使用するユニフォームの最終決定は試合開始30分前を目安に主審が行う ・ アンダーシャツを着用する場合、その袖の主たる色はジャージまたはシャツの袖の主たる色と同じにする ・ アンダーショーツを着用する場合、その主たる色はショーツまたはショーツ裾の主たる色と同じにする ・ 競技者の安全のために、一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする
日程	・ 9月20日～1月末日の間、「リーグはすべての日程の基軸となる」事を念頭に、積極的にリーグ戦の日程調整や運営に協力し、ブロック長を中心に各リーグにて試合を消化する ・ 前期リーグは5日以上、後期リーグは2ヵ月で8日以上は、リーグ戦可能日として、調査票に記入すること（平日は認めない）
合同チームに 関して	・ 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしており、（一社）大阪府サッカー協会3種委員会の承認を得た場合においてのみ認める事とする ・ 合同するチームは3チームまでとする ・ 合同するチーム及び選手は「参加資格」を満たしている事 ・ 大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う ・ 合同チームとしての参加を（一社）大阪府サッカー協会第3種委員会が別途了承する事
日没や落雷時の再試合 について	● 本来の規定とは異なるが、以下のように定める ・ 日没・落雷等により試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は主審が競技運営者と協議の上、判断する ・ 日没・落雷に関わらず、中断後は残り試合時間を“再試合”として実施する。再試合時には中断時のメンバー表・申し送り事項用紙を準備する ・ 再試合時には中断した場所がインプレーであれば中断場所からのドロップボールにて再開する。アウトオブプレー時に中断した場合はその中断場所からの再開とする ・ 再試合の審判は中断前と同一審判が望ましい ・ 再試合の出場選手については同一選手が望ましい - 中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合も、再試合には同一選手が出場する事とする
表 彰	・ 各ブロックの優勝チームには、優勝記念品を授与する

そ の 他	・負傷者については各チームにて対応する事とし、主催者及び主管者は一切の責任を負わない また、不慮の事故（物損等）の場合も同様とする ・大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入している事 ・チームベンチにはメンバー表に記入された指導者・登録選手のみとし、保護者等のベンチ入りは一切認めない ・チーム事情で大会に支障(当日棄権など)が生じた場合は、（一社）大阪府サッカー協会第3種委員会 フェアプレー・規律委員会にて後の処理を決定する ・やむを得ず棄権するチームは速やかに当該ブロック長及び大阪府3種委員会まで連絡する ・保護者等の応援位置や駐車箇所については会場責任者の指示に必ず従う事 ・保護者の中学校会場施設内や近隣での駐車を認めない ・尚、本レギュレーションは今年度のみの採用とし、適宜改訂・改善を検討していくものとする ・各ブロックはブロック長を中心に運営する （前後期ブロック長には一律3000円のブロック長自宅事務費を支給する） ・リーグ戦の運営費として、会場担当チームに1試合300円を支給する（協会から提供を受けたグラウンドを除く） ・決勝トーナメントでの会場費は、自チームの試合出場数に応じて別途徴収する ・「よりリーグ運営を行いやすくする」事を念頭に、各チームは『グラウンド調査票』の提出期限を厳守するなど 積極的に協力し、ブロック長が試合日程を組みやすくすること ・本レギュレーションには付帯資料として『2ndチームエントリーについて』がある
肖像権に関する 取扱い	一般社団法人大阪府サッカー協会は、肖像権の取り扱いに関して以下の通り対応するものとする。 （１）肖像権に関する取り扱い ①写真 一般社団法人大阪府サッカー協会またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、 新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある ②写真（写真撮影企業等） 一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が 「参加者向け写真販売サービス（ウェブサイトを通じた通信販売を含む）」を行うことがある ③映像 一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、 中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、 販売・配付されることがある。 （２）対応 ①承諾の確認 大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。 ②役員等 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、一般社団法人大阪府サッカー協会と大会に関する 契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

2ndチームエントリーについて

序文	・出場機会に恵まれない選手の“公式戦出場の機会”の確保を目的とし、フレッシュリーグ での複数チームエントリーについて定めるものとする。 ・チーム名表記については、チーム名は●●-2ndとする。 （例：リーグFCの2ndチームの場合⇒リーグFC-2nd / FCリーグの場合⇒FCリーグ-2nd）
参加費に ついて	・複数エントリーは2チーム目以降、エントリーチーム毎に別途参加費を納めなければならない ・参加費については1stと同額とする
チ ャ ム ・ 選手エントリー	・チームは2010年(H22)4月2日生れ～2011年(H23)4月1日生れまでの選手が半数以上で構成されていること ・2ndチームをエントリーするチームは1stチーム、2ndチームそれぞれ、15名以上のメンバーが登録されている こと。「選手15名プロジェクト」は実施しない。 ・エントリー用紙は複数チーム用を用いる ・その他は大阪市フレッシュリーグ要項に準ずる ・大会期間中1stチーム、2ndチーム間の選手の移動は認められない
スタッフに ついて	・スタッフ、審判員は1st、2ndどちらのチームでも活動できる ・1st、2ndそれぞれの日程組に支障のないように、スタッフ、審判員を準備する義務を負う
表彰	・2ndチームは優勝でき、表彰もされる